

第11回 全国棚田〔千枚田〕サミット

テーマ 緑と水と心のオアシス

愛知県鳳来町の四谷地区は、耕作者の高齢化や後継者不足が深刻化している状況であり、典型的な中山間地域の棚田地帯です。平成12年度から平成14年度にかけ「ふるさと水と土ふれあい事業」により1,425mの作業道や水車小屋、ぼっとり小屋、休息施設、ふれあい広場が整備されました。

作業道の整備は、これまで耕耘機や田植機を搬入するだけで苦勞をしていたところに、軽トラック1台が通れるだけの道が整備されただけで、農作業の効率化を図ることができ、耕作者は大変喜んでいました。

また、その他の施設を活用し、都市農村交流を図っています。

このように、自然環境をそのまま活かして、利活用している「四谷の千枚田」のあるがままの姿を見ていただき、話し合っていたいただきたいと考えております。

開催日程

9月2日(金) 第1日目

時間	内容	会場
9:00~9:50	全国棚田(千枚田)連絡協議会理事会	鳳来町役場
10:00~11:40	全国棚田(千枚田)連絡協議会総会。首長会議	鳳来町開発センター
11:50~12:30	昼食	鳳来町開発センター
13:00~13:30	開会式	または中学校体育館
13:30~15:00	基調講演 棚田学会会長 木村尚三郎	鳳来中学校体育館
15:00~18:30	四谷の千枚田見学(バス移動)	鳳来中学校体育館
18:30~20:30	全体交流会	四谷の千枚田
		山びこの丘

9月3日(土) 第2日目

9:00~11:30	分科会(テーマごとに開催)	鳳来町開発センター
		愛知県民の森
		鳳来中学校体育館
		各分科会会場
		中学体育館
11:30~12:30	昼食	
13:00~13:30	事例発表 連谷小学校「私たちの千枚田」	
13:30~13:50	四谷千枚田 絵画コンクール表彰式	
13:50~15:00	分科会の発表(討議・まとめ)	
15:00~15:10	共同宣言	
15:10~15:30	閉会式	

基調講演

演題 「棚田は宝、棚田はいのち 一愛・地球博に寄せてー」

静岡文化芸術大学学長・棚田学会会長

木村尚三郎

分科会

第1分科会	『小さな自治』と棚田	制度見直し後の地域活性化のために	東京大学大学院 助教授 小田切徳美
第2分科会	緑 棚田と森を考える	愛知大学文学部 教授 藤田佳久	
第3分科会	水 棚田と水を考える	東京農工大学大学院 教授 千賀裕太郎	
第4分科会	心のオアシス	早稲田大学 名誉教授 中島峰広	

先祖代々から受け継いだ文化遺産としての棚田を何としても守っていかねばならない。

お百姓さんの率直な意見を話し合っていたいただきたい。

四谷の

千枚田だより

第23号

棚田道足の下にも
豊明市 河合満
蜷嶋遠う



2005



全国棚田(千枚田)連絡協議会



四谷の身平橋組の若い衆は万博 でどくらいことをやってきた!



四谷地区身平橋の念仏踊り

「はねこみ」が愛知万博に出演しました

六月三十日(木)・七月一日(金)の二日間、愛知万博長久手会場日本広場内特設会場で政府出展事業の日本館イベントとして第三回 日本華座スペシャル催事が行われました。

この催事では、壮大な和リズムの饗宴「風流大打楽」と題して世界的な太鼓ドラマー・ヒダノ修一氏のプロデュースにより、和太鼓の原点である風流の太鼓踊りと現代の太鼓パフォーマンズの融合した壮大な和リズムの饗宴が繰り広げられました。

その饗宴に、風流太鼓踊りは岩手県の「鹿おどり」、岐阜県の「表左太鼓踊り」、そして愛知県を代表して民族文化の宝庫と言われる奥三河、我が町からは日本有数の美しい柵田「四谷の千枚田」の風景が広がる山あいの集落・身平橋の伝統行事(町指定無形民俗文化財)、悪疫退散、亡魂鎮送を願う感情あふれる風流の「はねこみ」が披露されました。現代の太鼓パフォーマンズには、ゴダイゴのリーダーとして「ガンダーラ」、

「銀河鉄道999」など数多くのヒットを出し、日本中を席卷したミッキー吉野氏が、また、マイケル・ジャクソンに起用されたアメリカの Jennifer Batten さん(ギター)、和太鼓は全国から選抜した女性四名の太鼓奏者が競いました。

「はねこみ」は身平橋の若い衆、中老衆二十二人が連夜の練習を集積して桧舞台に臨みました。

演目は「道行き」に始まり「輪づくり」、「はねこみ・岡崎、とうささぎ、四拍子」、「とり唄」、「はねこみ・しゃんぎり」、「出の岡崎」と続き、最後の引き庭の「道行き」では政府出展事業の日本広場で世界の人たちに「はねこみ」を披露できたことに若い衆も中老衆も感涙に咽びました。また、観客の老夫婦から「よいものを見せていただいた。

泣けました、ありがとうございました。」と握手を求められ、またまた感動で目頭が熱くなりました。

世界のアーチストや和太鼓奏者と饗宴の栄誉を得た一人一人が「大きなことをしたんだ」と満足し、四谷の千枚田同様、先祖からの遺産、伝承文化 念仏踊り「はねこみ」を守り、次世代に引継ぐことに自信と誇りを持ったことが今回の日本国際博覧会で得た何よりの収穫であったと思います。これを糧として「第十一回全国柵田(千枚田)サミット」に於いても、全国から訪れる柵田関係者にアトラクションとして念仏踊り「はねこみ」を、自信をもって披露する所存です。

なお、林正雄先生(町資料調査室)の連日のご指導、ご助言有り難うございました。〔広報ほうらい8月号掲載〕

千枚田のあつ母さん

万博でPR

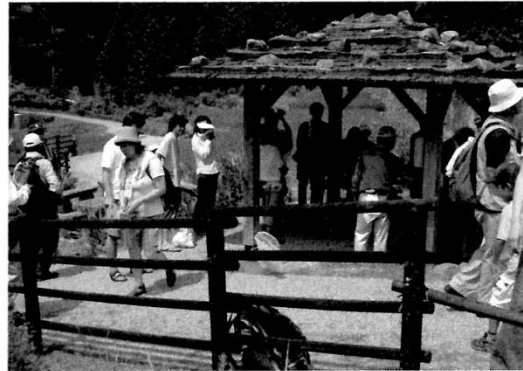
万博市町村催事「鳳来町の日」(七月十四日)、長久手会場愛知県館へあいち・おまつり広場において千枚田売店の会のおつ母さん連中が観衆の前で四谷の千枚田とサミット開催のアピールを、心臓をドキドキさせながら行ってきました。



スタンプリ

愛知県自然観察指導員連絡協議会主催のスタンプリが七月十六日(土)に四

谷の千枚田で開かれ、県内支部指導員はじめ一般の自然愛好者・千枚田ファンが大勢、参加しました。



愛知万博地域連携

プロジェクト事業協賛

「田舎おもしろ体験」

七月十六(土)・十七日(日)、四谷の千枚田と寒狭川布里地内で豊川流域サマーフエスタバル「今年の夏はめっちゃ楽しいかも」が八十名の親子の参加により開かれました。

参加者は豊橋市や名古屋

市の都市部の親子連れで整備された景観道を登るだけでヘトヘトの状態でした。

道のない昔は稲でも生活用品でも「しよいた」でみな背負い上げたんだよ。と説明しても、ウソーと全然信用されませんでした。

(協力 お助け隊・奥三河自然保護研究会)

四谷の千枚田



寒狭川布里地内

景観整備

①



七月十七日(日)、ふれあい広場、農道沿線の草刈りや障害木の除伐作業を保存会、お助け隊二十八名の参加により行われました。

暑い最中、ご苦労さまでした。

景観整備

②

八月二十日(土)、公民館活動の一環として、また、地域の皆さんの協力を得てサミットに向けた景観整備が予定されています。

景観整備

③

八月二十日(土)、役場職員により四谷の千枚田周辺の景観整備が行われます。

この活動は職員の自発的ボランティアとして町内各所で毎年実施されています。

万博協賛「昔の脱穀」

八月十五日から二十一日まで万博瀬戸会場で行われる四谷の千枚田「昔の脱穀」の現場把握のため、七月二十四日(日)にインストラクター全員が視察します。

走る環境教室

新城市役所主催、「走る環境教室」の一行が八月五日(金)・十二日(金)に四谷の千枚田を訪れ、小山舜二が対応します。

サミットまで

あと四十二日

投函

歳度なく 訪ねし飽きぬ
千枚田
屈折田面て モザイク模様
豊橋市 城所久弥

行 平成十七年七月二十日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山舜二